

令和7年度 菅田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状

・神奈川区の北西部に位置し緑区・港北区との区界で、区域の半分は市街化調整区域となっている。そのため、高齢者施設・障がい者施設が多く開設されている。交通の利便性はバスのみで決して良いとは言えない。昭和40年代に建設された区内有数の大規模団地や市営団地があるが、エレベーター未整備の棟も多く見受けられ、坂道も多く高齢化が進む中で住民の生活に支障が出ている。

・スーパー・コンビニは点在しているが、坂道等の地形的要因を含め買い物等への外出困難な状況もみられ、「移動手段の確保」も日常生活の問題としてあげられている。西菅田団地内では自治会が中心となり近隣の高齢者施設送迎車の提供により移送支援の取り組みが実施されている。他の地域での移動支援については、区役所・区社協・自治会・福祉施設との連携の中で宮向団地からFUJIスーパー鳥山店までの移動支援が常設化した。

・圏域の人口は16,024人・高齢者数は4,829人であり、高齢化率は区平均の21.93%を上回る30.14%となっている（R6.3月末）。この要因の一つとしては圏域に老人福祉施設等が多いことが挙げられるが、ケアプラザとしては施設入所者も「菅田町住民」として捉え、地域の行事やケアプラザの自主事業等にも参加できるようにしたいと考えている。新築戸建て住宅も増えてきており、若い世代の世帯が増えてきている。

・全ての住民が少しでも長く住みなれた場所で健康に楽しく生活できるように支援していくのがケアプラザの役割の一つであると考えている。そのために、健康維持と介護予防に視点を置いた「あおぞら盆踊り体操」は2ヶ所で実施しており、真夏を除いた時期に屋外で開催している。（真夏の時期は屋内で実施）「ノルディックウォーキング」も参加者が増えてきており関心の高さがうかがえる。「スクエアステップ」を含めた介護予防事業は、今後重点的に実施していきたいと考えている。

・若年障がい者が地域から孤立する傾向も見受けられており、地域住民の理解を深めるとともに彼らの居場所の確保と就労へつなげるような支援が必要になってきている。特に単身者については、地域との連携も重要であると感じている。

・こどもの居場所については「ComeComeひろば」に毎回20名前後の子供たちが来ている。今後も学校やSSW・主任児童委員等とも密な連携を取り、必要であれば個別対応も行っていく。他に地域内でこどもの居場所を行っているところもあり、新たな展開についても関係機関と連携して支援していきたい。

□ 今後の方向性

・福祉施設との連携で移動支援を宮向団地で開始した。今後は振り返りを行いながら頻度やルート等の検討を行っていく、より良い活動につなげ、他地区での移動支援の模範となるようにしていきたい。

・他地域においても地域のニーズを把握し、移動支援に縛られずに移動販売も視野に入れながら支援していきたい。

・住民からはフレイル予防をはじめとした健康に対する意識が高く感じている。参加者の偏りが気になることもあり、新たな参加者へのアプローチも考えていきたい。

・学校との連携を強化していく、未来を担う子供たちが地域の事業等に参加する機会の拡大を図っていきたい。

・地域企業との連携を深めていきたい。福祉施設とは定期的に会合はあるが、企業とも機会を作りながら情報交換を進めたい。

新規
継続

—具体的な取組内容—

1-2 地域アセスメント

■ □ <生Co>

- ・地域ケアプラザとして、活動時に訪問しモニタリングとケアマネジャーへの活動周知などしていく
- ・自治会、ダイエーと健康相談会を共催するなど企業と連携をしていく

1-4 社会資源の開拓・開発・支援

■ □ <地域>

- ・小学校との関係性を継続していけるよう、クラブ活動や総合的な学習等（地域と関わる機会を作る）に協力する他、生徒に「福祉」、「ボランティア」、「助け合い」についての福祉教育も合わせて区社協と連携し行っていく。
- ・中学生ボランティア支援事業「ちよいボサポーターズCLUB」については、4ケアプラザ合同で、4中学校の生徒対象に対面以外のボランティア活動をコロナ以降計画し提供してきた。今年度は、中学校のニーズ把握や更なる連携を図っていくため、子供活動インフォーマル冊子等ツールとなるものを作成。活用方法については、SSWや地域関係者と連携し行っていく。
- ・「輝け菅田の子フェスティバル」（菅田地区社協共催）を開催し、若い世代が地域と関わる機会を作っていく。

■	□	1-6 地域ケアプラザの場を活かした支援	
		<地域> ・日頃より顔の見える関係性づくりを心掛け、高齢・子供・障がいの自主事業や地域での活動に参加し、ケアプラザの機能周知やニーズ把握等に努めていく。 ・「菅田安心ボランティア」の協働事務局として、地域に暮らす人が孤立しないよう、子供から高齢、障がいの方の困りごとに応えられるよう調整していく。 ・休止してしまった活動について、ボランティアデビュー講座などを通して、必要な活動の再建に取り組んでいく。また、子供から高齢者まで誰でも参加しやすい魅力ある活動を提供できるよう取り組んでいく。	
		2-1 認知症支援事業	
■	□	<5職種> ・既存の喫茶サロンを活用して、認知症の人やその家族、地域住民、支援者などが気軽に集まって交流や情報交換する場を提供していく。(月1回) ・特養、老健、認知症GHの職員にゲストスピーカーとしてサロンに招き、認知症の人やその家族、地域住民に必要な情報を提供していく。	
□	■	2-6 地域ケア会議	
		<主マネ> ・地域住民、地域の企業、関係機関と課題の共有を続けつつ、関係機関との連携をすすめ、地域住民の主体的な取り組みにつなげられるきっかけを探る。	

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

【全体を通して】

□ 区からのコメント

令和7年度菅田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	○部門に関わらず事業所等を選定する時は、一覧表・リストを提示し利用者に選択してもらうようにする。	○横浜市の事故報告書を職員全体で共有することで、再発防止につなげていく。 ○事故報告書・ヒヤリハットの提出を確実にやっている、職員全員で共有し再発防止に努める。 ○個人情報に関する誓約書を全員に提出してもらい、個人情報保護について確認してもらう。 ○個人情報・コンプライアンス研修を実施する。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	○利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し実行していく。	○インフォーマルサービスを含め、利用者本位のケアプランを作成する。 ○医療と介護の強化・推進を図り、入退院時の情報交換・共有を行う。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	地域包括支援センター 看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・生活支援○	3人体制(うち1名管理者を兼任)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	研修の受講や勉強会を通じて、専門的な知識の習得を行い、利用者に安心・安全に過ごして頂けるように努める。又、感染対策予防を十分に行っていく。	研修会や勉強会を通して認知症高齢者ケアの理解を向上させ、家族や地域に信頼されるサービスを提供していく。又、感染対策予防を十分に行っていく。	
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 45名 日曜日 15名 9:30～14:35	【実施日数】 .307日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 10名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 昼食代 700円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】 昼食代 700円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者1名(兼任)・生活相談員6名・看護師5名・介護17名・その他11名	管理者1名(兼任)・生活相談員6名・看護師5名・介護17名・その他11名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市菅田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,166,025	0	19,166,025	0	19,166,025	横浜市より
内 受領額	19,166,025		19,166,025		19,166,025	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他	5,107,083		5,107,083		5,107,083	
収入合計	24,273,108	0	24,273,108	0	24,273,108	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	16,804,240	0	16,804,240	0	16,804,240	法人経費は含まれていません
内 本俸	9,800,000		9,800,000		9,800,000	
内 社会保険料	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
内 手当計	3,500,000		3,500,000		3,500,000	
内 健康診断費	55,000		55,000		55,000	
内 勤労者福祉共済掛金	200,000		200,000		200,000	
内 退職給付引当金繰入額	0		0		0	
内 その他	1,249,240		1,249,240		1,249,240	
事務費	450,000	0	450,000	0	450,000	法人経費は含まれていません
内 旅費	40,000		40,000		40,000	
内 消耗品費	20,000		20,000		20,000	
内 会議開い費	13,000		13,000		13,000	
内 印刷製本費	10,000		10,000		10,000	
内 通信費	205,000		205,000		205,000	
内 使用料及び賃借料	120,000	0	120,000	0	120,000	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
内 内 その他	120,000		120,000		120,000	
内 備品購入費	20,000		20,000		20,000	
内 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	2,000		2,000		2,000	
内 職員等研修費	0		0		0	
内 振込手数料	0		0		0	
内 リース料	0		0		0	
内 手数料	0		0		0	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	20,000	0	20,000	0	20,000	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	20,000		20,000		20,000	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
事業費	200,000	0	200,000	0	200,000	法人経費は含まれていません
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
内 その他	200,000		200,000		200,000	
管理費	5,964,136	0	5,964,136	0	5,964,136	法人経費は含まれていません
内 光熱水費	4,550,000		4,550,000		4,550,000	
内 清掃費	800,000		800,000		800,000	
内 機械整備費	120,000		120,000		120,000	
内 設備保全費	472,000	0	472,000	0	472,000	
内 空調衛生設備保守	230,000		230,000		230,000	
内 消防設備保守	25,000		25,000		25,000	
内 電気設備保守	40,000		40,000		40,000	
内 害虫駆除清掃保守	17,000		17,000		17,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	160,000		160,000		160,000	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	22,136		22,136		22,136	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算・指定額
太陽光パネル保守点検	380,732		380,732		380,732	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 内 内			0		0	
支出合計	24,273,108	0	24,273,108	0	24,273,108	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	0	0	0	0	0	
自主事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市菅田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,665,470	0	25,665,470	0	25,665,470	横浜市より
内 受領額	25,665,470		25,665,470		25,665,470	
内 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,181,938	0	6,181,938	0	6,181,938	横浜市より
内 受領額	6,181,938		6,181,938		6,181,938	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他	1,124,000		1,124,000		1,124,000	
収入合計	33,155,408	0	33,155,408	0	33,155,408	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,818,408	0	29,818,408	0	29,818,408	法人経費は含まれていません
内 本俸	16,700,000		16,700,000		16,700,000	
内 社会保険料	3,600,000		3,600,000		3,600,000	
内 手当計	7,500,000		7,500,000		7,500,000	
内 健康診断費	50,000		50,000		50,000	
内 勤労者福祉共済掛金	500,000		500,000		500,000	
内 退職給付引当金繰入額	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
内 その他	468,408		468,408		468,408	
事務費	748,000	0	748,000	0	748,000	法人経費は含まれていません
内 旅費	200,000		200,000		200,000	
内 消耗品費	60,000		60,000		60,000	
内 会議時費	3,000		3,000		3,000	
内 印刷製本費	0		0		0	
内 通信費	120,000		120,000		120,000	
内 使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	0	300,000	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
内 その他	300,000		300,000		300,000	
内 備品購入費	0		0		0	
内 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	1,200		1,200		1,200	
内 職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
内 振込手数料	0		0		0	
内 リース料	0		0		0	
内 手数料	0		0		0	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	13,800	0	13,800	0	13,800	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	13,800		13,800		13,800	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
事業費	1,014,000	0	1,014,000	0	1,014,000	法人経費は含まれていません
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	100,000		100,000		100,000	
内 その他	0		0		0	
管理費	1,449,000	0	1,449,000	0	1,449,000	法人経費は含まれていません
内 光熱水費	1,095,000		1,095,000		1,095,000	
内 清掃費	200,000		200,000		200,000	
内 機械警備費	30,000		30,000		30,000	
内 設備保全費	119,000	0	119,000	0	119,000	
内 空調衛生設備保守	60,000		60,000		60,000	
内 消防設備保守	5,000		5,000		5,000	
内 電気設備保守	10,000		10,000		10,000	
内 害虫駆除清掃保守	4,000		4,000		4,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	40,000		40,000		40,000	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	5,000		5,000		5,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	法人経費は含まれていません
支出合計	33,155,408	0	33,155,408	0	33,155,408	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	384,000	0	384,000	0	384,000
自主事業 収支	△ 384,000	0	△ 384,000	0	△ 384,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：菅田地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,050		3,050	21,000		21,000	76,802		76,802	24,105		24,105
	その他	0	0	0	185	0	185	15,852	0	15,852	5,563	0	5,563
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	利用者収入			0			0	8,941		8,941	3,280		3,280
	利用者食費収入			0			0	5,327		5,327	2,283		2,283
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	185		185	1,585		1,585			0
	収入合計(A)	3,050	0	3,050	21,185	0	21,185	92,654	0	92,654	29,668	0	29,668
支出	人件費	7,010		7,010	16,659		16,659	65,679		65,679	28,148		28,148
	事務費	502		502	986		986	8,660		8,660	3,712		3,712
	事業費	536		536	590		590	14,463		14,463	6,199		6,199
	管理費			0			0			0			0
	その他	8	0	8	100	0	100	68	0	68	29	0	29
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税	8		8	100		100	68		68	29		29
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	支出合計(B)	8,056	0	8,056	18,335	0	18,335	88,871	0	88,871	38,088	0	38,088
収支 (A)－(B)		-5,006	0	-5,006	2,850	0	2,850	3,783	0	3,783	-8,420	0	-8,420

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組み	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	ケアプラザ登録グループ代表者連絡会	平成12年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	貸館利用登録団体の代表者が一堂に会し、地域の現状や活動上の課題等について意見交換するとともに、ケアプラザから各種情報の提供を行う機会として開催する。	5：地域		・地域の現状や活動上の課題等に関する意見交換やケアプラザからの情報提供など。 ・年1回開催。	0	0	0	0
2	ちよいボラサポーターズCLUB	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の支えあいの大切さを意識づけ、地域の新たな担い手となるきっかけを作るため、近隣地域の中学生を対象に、年間を通してボランティア活動の機会を提供する。城郷小机・東本郷・鴨居の4ケアプラザによる共催事業として実施し、様々な場を提供する。	5：地域	4：子ども・青少年	・中学校に向いてのオリエンテーション、ケアプラザにおけるボランティアの受け入れ、勉強会・交流会の開催など。 ・オリエンテーション 年2回開催。 ・学生受け入れ 随時受け入れ。	0	0	0	0
3	在宅支援ボランティア団体支援	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	23年度の「こんにちはボランティア講座」を契機に発足した『菅田安心ボランティア』の活動支援を行う。	5：地域	1：高齢者	・菅田地区社会福祉協議会と協働で事務局を担う。安心ボランティアの活動の担い手を募る。フォローアップ講座を実施していく。 ・年2回開催。	0	0	0	0
4	神奈川区子ども支援事業「ComeComeひろば」	平成29年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	ひとり親家庭や共働き家庭で夜ひとりで過ごすなど、課題を抱える子供たちが安心して過ごすことのできる居場所づくりをすすめ、子供たちの成長を身近な地域で支援することを目的とする。	4：子ども・青少年	5：地域	・児童などを対象に年間を通じて子供の居場所づくりを定期的に実施。内容については宿題やゲームの他手作りおもちゃや等、子供たちが興味のわくものを実施。開催が困難な場合でも先生や生徒とのつながりが絶えないよう、総合的な学習等の協力や定期的な訪問を行っている。 ・年24回。毎月第2、第4木曜日 15時～19時。	0	0	0	0
5	すげたふれあい喫茶室	平成25年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	閉じこもり予防等を、目的に地域のあらゆる人が増える場、活動できる場を地域の関係団体と協働で提供する。	5：地域	1：高齢者	・喫茶の提供、にぎわいスペース・まったりスペースの提供、夕食惣菜の提供など。 ・年12回。毎月第4土曜日。	0	0	0	0
6	子育て支援事業「ふれあいおやこひろば」	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の乳幼児親子のふれあいを目的とし、子育て支援事業として地域のボランティア団体「すげたおやこひろば」との共催で開催する。	3：養育者及び乳幼児		・歌あそびや体操、創作活動、おやつづくり等室内で実施できるプログラムを提供するとともに、水遊びやお手振り等季節に応じた野外活動も予定。また、利用者同士の交流が深まるよう、フリートークタイムと昼食の場の提供を行う。	0	0	0	0
7	学齢障がい児余暇支援事業「なかよしキッズすげた」	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	神奈川区在住の県立みどり養護学校の小学生を対象に、休日の余暇支援を行う。神奈川区社会福祉協議会の共催、みどり養護学校の協力を得て実施する。	2：障害児・者		・菅田の地域資源を活用した余暇プログラムを、ボランティアとともに展開する。 ・年12回。毎月第4土曜日。	0	0	0	0
8	菅田・羽沢地区福祉施設連絡会(連絡会議・研修会)	平成22年度	4：共催（1と2）	2：発展させるねらい	菅田・羽沢地区に所在する38福祉施設の連絡会事務局として、連絡会議と研修会を開催し、各施設の課題の共有・検討ならびにその解決を図る。	6：事業者	5：地域	・菅田・羽沢地区に所在する施設間の連携を図るため、施設並びに地域課題の共有や問題の解決を図ることを目的とする。神奈川区社会福祉協議会との共催事業として、新人交流会、研修会等を施設連絡会の中で開催していく。	0	0	0	0
9	菅田・羽沢地区福祉施設連絡会(幹事会)	平成22年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	菅田・羽沢地区福祉施設連絡会の代表者が集まり、地域への地域貢献の検討を行う。具体的に移動支援については別途協議する。	7：事業者	6：地域	・福祉施設連絡会を通して、地域や施設間の情報交換・地域貢献への検討・あおぞらバートルの検討を行う。	0	0	0	0
10	ボランティア講座	平成27年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域で活動できる人材の育成を目的とし、ボランティアについて理解を深めていただき、既存の安心ボランティア等でボランティアとして活動して頂く事を目指す。	5：地域		・ボランティアとしての基礎や技術等の講座を数回実施していく。 ・年1回開催。	0	0	0	0
11	輝け菅田の子フェスティバル	平成22年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子どもとその保護者がフェスティバルへの参加を通して、地域の方々と交流を図ることを目的とする。実施にあたっては、地域の関係機関・団体が協働することにより、地域ぐるみでの子育て支援と交流を図るとともに、高齢者や障がい者等を招待し、地域の世代間交流。	4：子ども・青少年	5：地域	・もちつき大会、おしるこ配り、ゲーム大会等。 ・年1回開催。	0	0	0	0
12	精神保健啓発講演会	平成24年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	精神保健に関する地域住民の理解を促進することに、区生活支援センター及び関係団体との共催で開催する。	5：地域	2：障害児・者	・精神保健に関する啓発講座。 ・年1回開催。	0	0	0	0
13	かなちく子育て応援タイム	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	乳幼児親子が子育てに役立つ情報を得られる場として、地域子育て支援拠点「かなちく」菅田地区センター・ついでい広場「しゅくくるーむ」と共催で開催する。	4：子ども・青少年	3：養育者及び乳幼児	・幼児救急法や子供のケンカの見守り方、幼稚園遊びなど、子育てに役立つ情報を提供。 ・年4回。	0	0	0	0
14	年末大掃除・利用団体交流	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザ利用団体と職員との交流、また、団体同士の交流を目的とし、年1度普段使用している貸館の部屋の大掃除を全体で協力して実施。大掃除後は交流会としてケアプラザの役割の周知や団体同士の情報交換を行う。	5：地域		・貸館の部屋の大掃除、貸館利用団体同士の情報交換、ケアプラザからの情報提供など。 ・年1回開催。	0	0	0	0
15	認知症サポーター養成講座	平成24年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	認知症の方が住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう、地域の方に認知症についての正しい理解や認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者となってもらえるよう、認知症サポーター養成講座を開催する。	5：地域		・近隣施設職員のキャラバンメイトと協力し認知症サポーター養成講座を開催。 ・不定期。	0	0	0	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
16	ほっとサロンシュガー	平成30年度	4: 共催(1と2)	2: 発展させる ねらい	障害のある方が地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう集まれる、仲間づくりや社会参加を促して行くことを目的にサロンを開催。	2: 障害児・者	7: その他	・テーブルを開き音楽やカードゲームなど気分転換につながるような活動を通して交流をもってもらう。 ・年12回。毎月第4火曜日開催。	0	0	0	0
17	介護者のつどい	平成22年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	主に認知症の介護をしている家族を対象に、認知症介護に必要な情報や介護者同士の交流を図る事で、在宅介護を支援していく。	5: 地域	6: 事業者	・介護に必要なミニ講座や交流会・施設見学会等を実施。 ・年5回開催。	0	0	0	0
18	成年後見・遺言・相続無料相談	平成23年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	成年後見制度に関わる専門職と連携し、成年後見制度や権利擁護の普及啓発を図る。	5: 地域		・司法書士・行政書士による成年後見制度・遺言・相続の無料相談会。 ・年2回開催。	0	0	0	0
19	出前講座	平成23年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	地域に出向き講座を行うことで、地域包括支援センターの周知・啓発に取り組む。	5: 地域		・包括職員が地域の集まりに出向き、講座や啓発活動を実施する。 ・不定期。	0	0	0	0
20	ライフデザインノート活用講座	令和元年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	高齢になっても安心して暮らせるよう、終活事業を通して高齢者の権利擁護に関する普及啓発に努める。	1: 高齢者		・終活に必要な知識を学び、エンディングノートを書き進めていくための講座。 ・年1回開催。	0	0	0	0
21	サロン連絡会	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に 取り組み	地域の複数個所で継続的にサロン運営がされている。それぞれの地域性や立ち上げのきっかけや経過など特性を加味して、担い手自身が現状の活動のふりかえりや課題の検討、今後の方向性について意見交換し、関係機関と協働しているよう共有していく。	1: 高齢者		・サロン連絡会を開催。 ・年1回開催。 ・開催時期は菅田地区社会福祉協議会等関係機関と相談し実施。	0	0	0	0
22	あおぞら盆踊り	令和3年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に 取り組み	コロナ禍の心身のフレイル予防として感染予防を意識した屋外での活動を地域住民とともに推進していく。	1: 高齢者	5: 地域	・菅田みどりの丘公園を会場とし、毎月第3木曜日に開催。 ・菅田東町(猿渡バス停付近)にて毎月第4木曜日に開催。	0	0	0	0
23	詩吟教室	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させる ねらい	高齢者同士の交流促進と、発声することで呼吸機能を向上させ介護予防に努める。	1: 高齢者		・月1回開催。講師とともに詩吟について学び実際に詩吟を行う。	0	0	0	0
24	ひるラジ	令和3年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に 取り組み	コロナ禍におけるフレイル予防の一環として、住民が気軽に参加できるようにケアプラザの玄関周りでラジオ体操第一と第二を行う。幅広い世代を対象に動画活用を推奨していく。	5: 地域		・ケアプラザ玄関周辺で13時30分より毎日開催。 ・ラジオ体操の後に不定期に3分間フィットネスを実施。幅広い世代を対象に動画活用の推奨をしていきたい。	0	0	0	0
25	麻雀サロン	令和元年度	6: 共催(2と3)	2: 発展させる ねらい	普段外出機会の少ない住民を対象に麻雀を通して交流を行う。	1: 高齢者	5: 地域	・公募はせずに口コミで実施。 ・必要があれば送迎も実施している。	0	0	0	0
26	ワンコイン見守り隊	平成31年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に 取り組み	大規模団地内でゴミ出しが困難な住民に対してボランティアでゴミ出しを行い、安否確認や交流を目的とする。	1: 高齢者	5: 地域	・大規模団地内でゴミ出しが困難な住民に対してボランティアでゴミ出しを行う。	0	0	0	0
27	移動支援	令和5年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に 取り組み	買い物に不便を感じている地域を対象に菅田・羽沢地区福祉施設連絡会と協働し、移動支援に取り組む。	5: 地域	6: 事業者	・年数回実施。 ・自治会の協力を得、段階的に進める。 ・団地内の集会所から地元スーパーへの移動支援。 ・福祉施設の車両と運転手を提供する。	0	0	0	0
28	すげたふれあいまつり	平成12年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に 取り組み	地域の身近な相談窓口・活動拠点としてのケアプラザの周知とケアプラザ登録団体の活動内容とその成果を披露する場として開催する。より多くの地域住民に参加してもらえるように地区センターと共催で開催する。	5: 地域	7: その他	・登録団体活動成果の発表、模擬店の開催、ケアプラザの事業紹介など。 ・年1回開催。	0	0	0	0
29	地域活動デビュー講座 かなさんぽ	令和5年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させる ねらい	ボランティア活動や地域の支えあいなどに興味のある方を対象に講座を開催し、地域で活動するきっかけを作る。	5: 地域	4: 子ども・青少年	・まちあるきや金魚鉢トーク・すごろくトークなどの講座を開催。 ・年1回	0	0	0	0
30	ハマトレ・脳トレ体操	令和5年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させる ねらい	体力低下フレイルの方を対象に気軽に参加できる歌・体操を交えた教室	1: 高齢者		・軽めの体操に参加したい方。 ・月4回 1回30分	0	0	0	0
31	童謡教室	令和7年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させる ねらい	映像を見ながら童謡を歌い発声すること、口腔ケア・呼吸器作りの向上を図る。	1: 高齢者		・月2回 1回30分	0	0	0	0